



テクニカル・メッセージ

燃料系フィルタの定期メンテナンスについて

近年のディーゼルエンジンは燃料噴射の高圧化、インジェクタの高精度化が進んでいます。その為、従来は問題にならなかった燃料中の微小な異物も、大きなトラブルの原因となる可能性があります。このため、従来以上に定期メンテナンス時期の範囲内で燃料系フィルタのメンテナンス及び、純正燃料エレメントへの交換を徹底していただくようお願い致します。

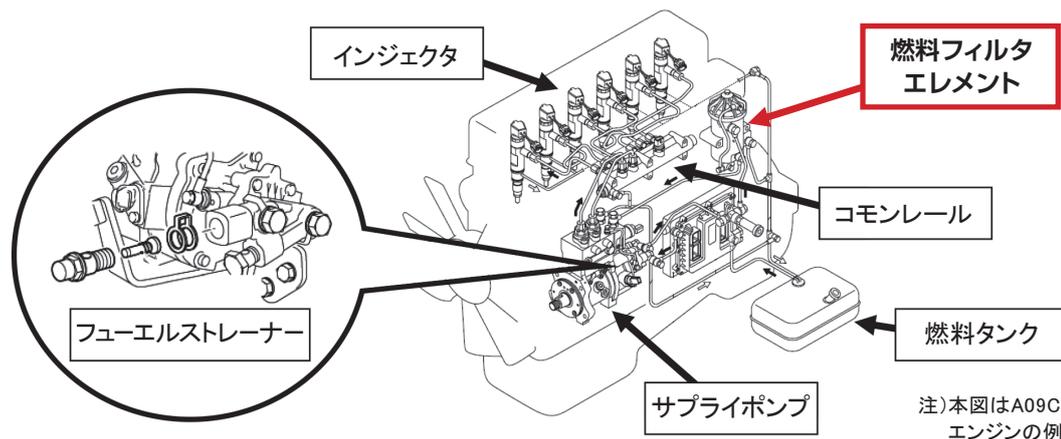
1. 対象車両

日野トラック・バス ディーゼルエンジン搭載車

2. 燃料フィルタエレメントの役割

燃料フィルタエレメントは、燃料中の異物(砂、金属粉、カーボン、繊維等)の捕捉や水分を分離する事で燃料噴射装置を保護する役割を持っております。

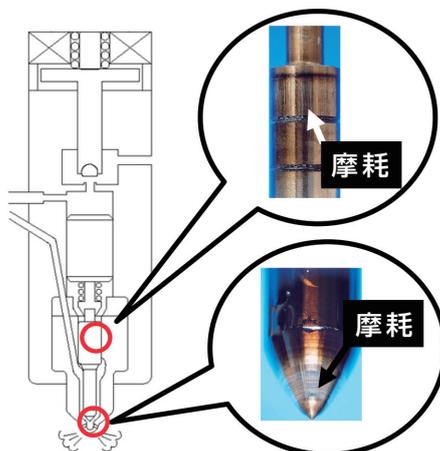
※注意: 車両によりエレメントの数、位置が異なります。



3. 定期交換時期を過ぎたまま使い続けると

定期交換時期を過ぎた状態で使い続けると、燃料フィルタエレメントが目詰まりし、本来の異物捕集機能や水分離機能が失われます。その結果、燃料装置の保護機能が低下し燃料装置の寿命を縮める可能性があります。

◆インジェクタ内容部品の損傷事例



◆サブライポンプ内容部品の損傷事例



